

令和5年仕事納め式あいさつ

本日を含めて、今年も残すところ後、4日となりました。

今年も不安定で予測できない1年でありましたが、みなさんには業務に邁進していただき、住民のみなさまの相談などに親身になって、対応していただいたこと、まずもってお礼申し上げます。

今年の漢字、一文字を「進」として、一歩ずつ前に進む1年となることを願って、表させていただきました。

4年ぶりに開催した「青山剛昌先生と話そう DAY」、現地開催の「すいか・ながいも健康マラソン大会」など、自治会の運動会やいろいろなイベントが以前のような姿で実施できるようになりました。

また「未来への投資」ということで、将来に向けて、持続可能なまちとなるよう、積極的な予算編成はもとより、いろんなアイデアを出していただいているところです。改名した道の駅「ほうじょう」は、令和7年4月のオープンを、青山剛昌ふるさと館の再整備も令和9年の新築移転を目指し、具体的な取り組みを進めています。鳥取中央育英高校の入学者が減少している課題については、高校魅力化事業として、専門員を設置し、取り組みの強化しているところです。

しかしながら、不登校問題やいじめの問題などで教育委員会には、1年を通して、気

の休まる時がなかった1年だったと思います。

さて、今年、少しずつではありますが、人と会う機会が増えてきました。コロナ禍で我々は、リモートでの会議や協議を行ってまいりましたが、やはり、重要な案件になると実際に会って、話をする事の大切さを再認識したところです。このため、私は、来年の一字は、この「会」にしました。個人同士や集う会を行うことで会って、話をし、活気を取り戻していけるよう願います。

多くの職員は、明日から6日間の年末年始の休暇となりますが、この期間中に勤務に当たられる職員のみなさんには、お世話になりますが、よろしく願います。また、時節柄、お酒を飲む機会も増えると思いますが、飲酒運転は絶対にはいけません。

皆さんが令和6年の新春を健やかに迎え、新しい年が笑顔で満ちた年となりますよう、そして、1月4日には、元気で出勤していただきますよう祈念し、令和5年の仕事納め式のあいさつとします。

令和5年12月28日

北栄町長 手嶋俊樹